



安全ニュース(2026年10月)



(株)スタンダード運輸

(株)東運

スエ電機(株)

重点実施項目 (国交省告示第1366号)

重点実施項目 (国交省告示第1366号)

交通トラブルに関わる運転者の生理的及び心理的要因・及び対処方法

医薬品の使用等による眠気及び飲酒の生理的要因によるトラブルの可能性を理解させる。



"3箇条厳守"

睡眠不足も乗務禁止の事由に!

運転者の過労や睡眠不足による居眠運転事故防止のために乗務禁止事由が強化されました。

点呼時の確認・報告事項

日常点検とその結果
酒気帯びの有無
疾病・疲労等の有無

睡眠不足の有無

運行管理者は、乗務員点呼の際に報告を求める確認事項として、「日常点検結果」「酒気帯びの有無」「疾病・疲労等健康状態」に加えて「睡眠不足の有無」をチェックする義務があります。

運転者は睡眠不足で安全運転ができない! おそれがある場合は点呼時に申告する義務が生じます。

赤信号にかからない運転を心がけてみませんか?

もし赤信号で止まらずに走行することができれば、走行時間も少なくなり、燃費も向上するのと思うことがよくあります。ある一定の安全なスピードで走行すれば、随分と長い間赤信号で止まらずに走ることができます。その分だけ燃費の向上につながります。



赤信号で止まらないと危険です!

無理のないスピードで安全運転を!

また、前方の信号が赤信号の場合には、スピードを落として近づくことで、燃料を節約することができます。信号で停止する時間を短くすることができます。近づいている途中で青信号に変わることもあります。

自分の運転スピードをコントロールして、赤信号で止まらない運転を心がけてみませんか?

安全運転で事故ゼロを目指しましょう!

動物との衝突事故に注意しましょう!

● 哺乳類では秋以降、親離れをして単独行動をする種が多いため、動物と衝突する事故が多発する傾向があります。

● 飛び出してきた動物を避けようとして急ブレーキをかけたり急ハンドルを切るのは非常に危険ですが、衝突時に対向車線などに車がきてると重大な事故につながる危険もあります。



この時期は とくに「動物注意」の標識を見かけたら飛出しの危険を予測し、冷静に対処するように心がけましょう。

渋滞している隣車線からの横断者に注意!

片側2車線以上の道路を走行しているとき、片方の車線だけ渋滞していて、もう一方の車線はすいていることがあります。

すいている車線を走行しているドライバーとしては、自車線がスムーズに走れているので、あまり隣車線にまで注意が向きません。

しかし、車が渋滞していると、歩行者などは渋滞車両の間から横断してくることがあります。



それでも、渋滞車両が少しでも動いているうちは、横断する人は少ないのですが、渋滞車両の動きが止まったときには、横断してくる可能性が高くなりますので、渋滞車線のほうにも注意を向けるようにしてください。

走行時の安全操作を順守しよう!

荷物をピックアップしたりトラックなどに積み込むとき等は、マストを高く上げる必要がありますが、走行時は転倒防止や建物等への接触を下げるため、床上から約15~20cmの高さまでフォークを下げて、マストを後ろに倒して走行するのが基本です。



常にご基本走行を守っていれば、どのような場所を通るときでも上に当たるような危険はありません。しかし、普段作業する場所の天井が高いような場合は、高く上げても大丈夫という意識が働き、こうした基本操作や高さへの確認行動が甘くなりがちです。作業中にいちいち下に降ろすのが「面倒くさい」と感じるようになると要注意です。

いずれ、高さ制限を忘れてドアなどの損傷事故に結びつきます。